

2009年 4月 31日発行

③ 3月議会とごみ拾い

最近はずっと歩いて市役所に通っていたのですが、この3月議会は徒歩ではなく自転車で通いました。40分間の徒歩での通勤は運動不足の僕には魅力的なのですが、ごみ拾いの誘惑に勝てなかったのです。歩いていると道路のゴミが気になりました。いつかこのゴミを拾ってみたい。「環境新座」そして「教育新座」を目指している僕には黒目川のゴミと同じように、見過ごすことは出来ませんでした。僕はトンゴとゴミ袋を自転車のかごに積んで、獲物を探しました。勿論、全てのゴミを拾いながら通勤するのは不可能です。ターゲットはビン・缶・ペットボトルに絞りました。それでも自転車のかご一杯になる日があるのですからやめられません。黒目川の川掃除でゴミ拾いの楽しさに目覚めてしまった僕は、道路のゴミ拾いにもハマってきました。6月議会も自転車で行くことになりそうです。

③ 教育委員会

委員会といったら、複数の委員が色々な意見を出し合うものです。この3月議会で「全国統一学力テスト」について、新座市教育委員会ではどういう意見がでたのかを尋ねました。全国統一学力テストをやるやらないは各市町村教育委員会に委ねられているからです。ところが金子教育長の答弁は「国の施策であり文部科学省が予算計上し、国会で審議しているので実施すると私が判断した」というものでした。一方で、伊藤教育委員長は「教育委員会は市民の立場で大局的にチェックするもので、地域住民全体の代表が教育委員会です」と答弁しました。その通りだと思います。この学力テストに対する声は様々です。教育委員会は市長や教育長のお飾りではありません。新座市市民の代表として、各委員には頑張ってもらいたいところです。

③ 学校の校庭は芝生に！

鳥取方式という芝生化運動が全国の学校や公園に広がってきています。これは痛みに強く、成長が早いバミューダグラス（スティフトン）という芝をポット苗で植えていくという方法で芝生化を進めていく運動です。このポット苗は1m間隔で植えればよく、その費用は1㎡当たり100円（ポット苗を自作すれば8円）とかなり安い上、植え付け作業も子ども達でできます。1週間に一度の芝刈りが必要ですが、学校には子ども達という労働力がありますから維持費はゼロ。それこそ美化委員会や体育委員会、そして校庭芝生委員会などでやれば十分にできるでしょう。芝は小さい子やお年寄りにも優しく、安全性は土の校庭とは桁違いです。サッカーや野球をやりながらでも成長できる芝なので、子ども達の遊びや運動にも制限はありません。東京は学校の芝生化に本気なのですが、新座市も負けてはいけません。財政難でも十分できることです。芝には人を集める力があります。下の写真は練馬区の大泉中央公園。親子連れでいつも賑わっています



教育長は「芝生化するには校庭の表土を全部除去する必要があり、大工事が必要」とドンチンカンな答弁。もう少し勉強して欲しいと思いました。

③ 田中ゆきひろからのメッセージ
市議会を去って一年が過ぎました。7月の市長選に178票差で破れ、こうして一市民として市政を見ていると、税金を使って何をやっているのかさっぱりわかりません。もっとも、何かしらやっているのは事実なのでしょうが、なるほど、こんな街にしたいのだ!」というものが全く伝わってこないのです。政治って一歩離れてみると、こんなものなんだな、と痛感する今日この頃です。市民パワーを生かせるか、ということに、今の市は全く思いが至っていません。市民パワー全開の全員参加市政でなければ、これからの時代は乗り越えられないでしょう。そこで、昨年秋に立ち上げたのが、NPO「地域の力」。今、公共交通の問題、子ども達の基礎学力の問題に取り組んでいます。このNPOの主旨は市民。そして活動の目的は、高齢者には生きがいの問題として、若者には経済活動の場として、地域というものを自分の問題としてとらえてもらおうとしています。つまりすべての人が、生き生きと、奇麗事ではなく実体として自分に迫ってくる、そんな地域を創ろうというわけです。みなさんの参加をお待ちしています。電話 048-478-6696
NPO「地域の力」 代表 田中ゆきひろ



写真は去年の市長選挙の最終日。左から井上さくら、田中幸弘。そして私、たかやん。さくらはウグイスとして大活躍。あの「さくらです!」たなかゆきひろです!」はさくらが考えたのです。さくらは横浜市で現役の市議会議員。田中ゆきひろは新座市を諦めていません。僕と田中ゆきひろは新座市を変えていこう! そう誓ったのです。

③ 本の魅力

テレビやパソコンの画面を長時間見ていると、エネルギーが吸い取られていくのを感じます。2時間も見ていると、クタクタになります。元気のない時にテレビを見ていると、まず「やる気」は起きません。ところが読書は違います。いくら読んでも疲れることがありません。逆にどんどん「やる気」が沸いてきます。僕はどんな時でも本だけは携帯するようにしています。お風呂は勿論、トイレの数分間もパラパラとページを捲ります。何かを待っているときの読書は格別です。待つことが苦痛になりません。そして、パソコンを立ち上げる時などはラジオ講座のテキストを開きます。もう僕の人生も残りはわずか。隙間時間を使うことで、楽しい時間を増やしていきたい。そう思うのです。いくら大不況でも自分の時間だけは価値を下げたくはありません。毎日を幸せな気持ちで生きる為には、どうしても本が手放せません。最近、東野圭吾を読み漁っています。

《お知らせ》

黒目川の川掃除を毎月一度しています。5月は連休を避けて17日)、6月は7日)朝9時~1時。栗原一丁目公園集合です。魚類調査も予定しています。途中参加も大歓迎です! トング、軍手、ゴミ袋はこちらで用意します。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。197年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし退職。2004年の選挙で初当選。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」メンバー。黒目川川づくり懇談会」「いざ教育委員会」代表。石神3丁目に住。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。たかやん③

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106